

Soccer News Shiga

サッカーニュース し が

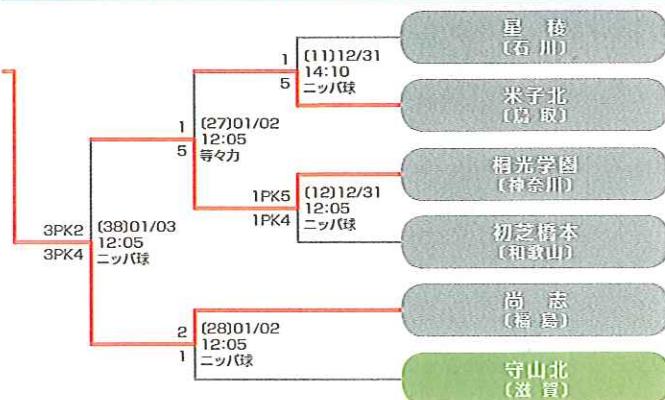
[発行] (社)滋賀県サッカー協会
 [責任者] 専務理事 奥村 弘
 〒524-0212 滋賀県守山市船町2459
 ビッグレイク内
 TEL 077-585-0982
 FAX 077-585-0983
 e-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp
 URL http://www.shigafa.com

[印刷] 株式会社スマイ印刷

冬季全国大会

出場チーム結果

第90回全国高等学校サッカー選手権大会 2011.12.30~2012.01.09



第21回全国専門学校サッカー選手権大会 2011.10.10~10.14

優勝 甲賀健康医療専門学校

決勝戦 4対2(対 専門学校北海道体育大学校)

バーモントカップ第21回全日本少年フットサル大会

チーム名	アルビレックス新潟ジュニア	プリンカールFC	ラドソン滋賀U-12	M.FC高松Jr.	勝点	得点	失点	得失点差	順位
ラドソン滋賀U-12 (滋賀県)	1 0 6	0 0 2		1 0 3	0	2	11	-9	4

予選リーグ敗退

第13回日本フットボールリーグ(2011)戦績表

	佐 川	司 田	ホ ン ダ	兵 崎	佐 川 印	松 本	秋 田	全 沢	F C 長 野	ひ む こ	武 真 智	ロ ック	ソ ニ 一	岳 木 ウ	ジ エ フ	高 崎	酒 井	眞 理	順 位
SAGAWA FC	H	3△3 3○2	0●1	1●2	2○1	2○1	0●1	2○1	1○0	1○0	1○0	1●2	2○0	2○1	4○0	2○0	2○1	2○1	1
A	1●2 1○0	1○0	0●6	2●2	2○1	2○1	1○2	4○1	1○0	3○0	3○1	1○3	3○4	2○1	1○0	2○1	3○1	2○1	100
MIOひのこ 草津	H	1●0 1○6	1○2	1●2	1○2	2○3	2○1	1△1	4○1	0△0	1●2	1△1	2○3	1○3	1○0	2○1	3○1	2○1	13

第42回全国中学校サッカー大会を終えて

滋賀県中学校体育連盟サッカー専門委員長 福島 隆志

全国9ブロックより予選を勝ち抜いてきた32チームを滋賀県守山市・東近江市・大津市・野洲市にお迎えし、昨年の8月18日(木)から23日(火)の6日間、平成23年度全国中学校体育大会第42回全国中学校サッカー大会を開催いたしました。

昨年の3月11日に東日本大震災が発生し、被災された方々には心よりお見舞い申しあげます。本大会での若さあふれる力一杯のプレーは、被災地へ勇気と感動を届けたことと思います。

さて、本大会は、FIFA女子ワールドカップドイツ大会での「なでしこジャパン」の優勝に多くの人々が感動した中で、開幕いたしました。本大会の開催にあたっては、感動と友情の輪が広がる熱く思い出深き大会になるよう準備を進めてまいりました。出場チームの皆さんのお話を願い滋賀県の中学生が折った千羽鶴を、「守山市民ホール」での開会式で手渡すことができました。また、雨の影響もあり昨年ほどの猛暑ではなかつたものの、スポーツをするには厳しい暑さが続く中、「野洲川歴史公園サッカー場」、「布引運動公園陸上競技場」、「皇子山総合運動公園陸上競技場」、「希望が丘文化公園陸上競技場」においては、それぞれのチームが日頃の練習の成果をいかんなく発揮し、高い技能と気迫あふれるプレーが展開され、熱戦が繰り広げられました。チームが一丸となり最後まで全力で試合をする姿は、多くの人々に感動をされました。これまで熱心に指導に携わってこられた監督・コーチ、関係の皆様の努力や情熱に改めて敬意を表します。

大会の準備ならびに運営にかかわって、(財)日本サッカー協会、(社)滋賀県サッカー協会をはじめ関係の皆様方に、多大なご支援をいただきました。また、大会の開催にあたり、大会役員、競技役員、県内の中学生(生徒役員や吹奏楽部員)の皆様の多大なご協力に感謝申しあげます。このように多くの方々のご尽力で、本大会を無事に運営することができました。本当にありがとうございました。

終わりになりましたが、前年度開催県の山口県でのご指導、ご助言に深く感謝するとともに、次年度開催県の茨城県の皆様のご健康と次回大会の成功をお祈りし、大会終了のお礼をいたします。

滋賀県第1回フットボールカンファレンス開催

平成23年11月27日に、ビッグレイクにおいて、滋賀県で最初のフットボールカンファレンスを開催しました。当日は、C級コーチリフレッシュを兼ねて行われ、午前は講師に内山篤氏(ナショナルコーチングスタッフ関西担当)をお招きし、NTC U-14のトレーニングメニューを、受講者に紹介されました。また、午後からは、技術・審判合同研修 パネルディスカッションを開催し、現在の滋賀県の状況と今後の課題等について討論されました。参加者からはとても有意義で、来年度以降も続けてほしいという感想が多くあり、滋賀県で初めてのカンファレンスが皆さんのおかげで成功したことに対するスタッフ一同感謝しております。ありがとうございました。

小学生年代における8人制サッカーとリーグ戦文化の構築

昨夏の「全日本少年サッカー大会(全少)」は、それまでの11人制から8人制へと競技人数が変更され、小学校低中学年で実施されていた8人制サッカー(全農JA杯チビリンピック等)がU12年代でも本格的にスタートした。

「ゴールデンエイジ」と呼ばれるこの年代においての8人制サッカーは「育成・普及・強化」という3つのキーワードを的確に満たすスタイルであり、「個の育成」に有効なシステムである。

<8人制サッカーの特徴>

11人制サッカーと比較し8人制サッカーでは3つの大きな特徴が挙げられる。

- 1 選手ひとりひとりのボールタッチ数が増える
 - 2 ゴールチャンスとピンチが多くなる(ゴール前での攻防機会が増える)
 - 3 攻守の切り替えが速くなる(常に全員が攻め、守りを要求される)
- 8人制サッカーではプレーヤーが攻守を分業することなく常に攻守に関わりが持てる、サッカーの楽しさを実感できるゲームが出来来る。

また、プレーエリアが広がることで視野と状況判断をする時間が確保でき、判断を伴わないプレーが減り、自分の意図するプレーが出来ることも大きなメリットもある。

育成・普及ではたくさんボールに触れられることの楽しさを、強化では基礎技術、判断力の向上を目指したトレーニングを8人制サッカーとリンクして行うことで、選手の拡大、底上げが出来る良い機会である。

<1人審判制とフェアープレー精神>

8人制サッカーでは1人審判制で行われる。

1人審判については審判、プレーヤーとも不安なところがあるが、まだまだ過渡期でもある。

審判、プレーヤー、指導者、保護者が連携して「フェアープレー」精神でお互いを「リスペクト」していく環境を作っていくことが重要である。

<リーグ戦文化の構築>

「年間を通してリーグ戦」を実施することを定着させ、多くの選手の出場機会を増やす、その成長過程を把握できる環境を構築していく。

一発勝負のトーナメント方式では出来ない柔軟な対応が可能となり、いろいろなことにチャレンジ出来るようになる。

また、全少が1チームエントリー制から複数エントリーが可能になったことから、選手が多いチームでは複数チームをエントリーすることが出来るようになり、リーグ戦でも多くの選手が出場出来ることは大きなメリットである。

<全少大会の冬開催>

2014年度から全少大会は夏季開催から冬季開催に移行する。

8人制サッカーで年間を通してリーグ戦を1人審判で行い文化を構築し、冬季開催の県大会予選をリンク出来れば理想的な運営が見込まれる。

なでしこジャパン望月コーチ 国民栄誉賞受賞祝賀会

社団法人滋賀県サッカー協会 会長 松田 保

未曾有の自然災害が東日本を襲い、いまだに大きな悲しみと苦しみをもたらし続けている大震災が、発生以来一年を経過しようとしています。そんな中、昨年の夏被災地の人々と日本に大きな感動と元気と勇気を与えてくれたのが、ドイツ女子ワールドカップで優勝したなでしこジャパンでした。どんなに苦しい時も諦めずに粘り強く戦い、勝ち抜いたなでしこジャパンの活躍は、スポーツの持つ計り知れない力を世界中の人々に見せてくれました。素晴らしいパスサッカーで多くのサッカーファンを魅了したが、清く正しく美しくプレーした証であるフェアプレー賞を受賞しての優勝は、スポーツの尊厳となでしこジャパンの価値をさらに高めたといえます。またスポーツの力によって世界の多くの人々に日本の大震災の現状を伝え、世界中から多くの支援と援助を頂きました。なでしこジャパンは復興支援の感謝の言葉を記した横断幕を掲げて毎試合後スタジアムを一周し、サッカーファンとマスコミを通して日本人の感謝の心を世界中の人々に伝えてくれました。

その世界一の栄誉と、被災地の人々をはじめ多くの日本人に大きな感動と元気を与えてくれた功績によって、望月聰(滋賀県大津市・栗津中学・守山高校・大商大出身)コーチを含めたチームスタッフ35名全員が国民栄誉賞を受賞しました。滋賀県でも滋賀県知事と大津市長からスポーツ特別賞を顕彰され、スポーツにかかわる多くの方々でこの快挙をお祝いしてはどうかという機運となり、滋賀県体育協会・滋賀県サッカー協会・びわこ成蹊スポーツ大学・守山高校サッカー部OB会が世話人となり、2012年2月5日琵琶湖ホテルに於いて250名の出席者による盛大な祝賀会が開催されました。来賓には嘉田滋賀県知事をはじめ川端総務大臣・奥村文部副大臣・越大津市長・宮本守山市長・上田日本サッカー協会女子委員長などが出席され、世話役代表の河本滋賀県体育協会会长の挨拶の後、嘉田知事が来賓祝辞の中で「スポーツ推進基本計画をつくり、2巡目の国体の準備を進めていきたい」と決意を述べ、2024年の国民体育大会開催に名乗りを上げることを表明された。更に、川端総務大臣も奥村文科副大臣もスポーツ基本法の制定に触れ、スポーツは基本的人権の一つであり、国及び地方公共団体の責務とスポーツ団体の努力によってスポーツ基本法の理念を実現してゆかねばならないことを明言された。また恩師の上田大商大総監督は「子供たちに与える夢や影響は非常に大きい、W杯の金メダルと国民栄誉賞受賞はサッカー界だけでなく日本列島全体に明るい希望と勇気を与えてくれた。今後も指導者として研鑽され、日本の国全体に明るい希望を与えていただきたい」と祝辞の中で望月コーチを激励された。

この祝賀会が、これから日本のスポーツの発展と滋賀県のスポーツの発展につながって行くことを心より願い、ロンドンオリンピックでのなでしこジャパンが再び日本中に大きな感動を与え、金メダルを獲得されることを期待したい。

女子審判員 審判実技教室開催

2/11(土)ビッグレイクにて女子審判員の実技教室を行いました。13歳から60歳までの33名の女性が受講しました。

講師には、FIFA女子ワールドカップドイツ2011でカナダ代表対フランス代表戦で笛を吹かれた、国際審判深野悦子さんと1級インストラクター関根氏が来てくださいました。午前中の講義では深野悦子講師から、ワールドカップやなでしこリーグでの審判体験を通しての楽しい体験談をききながら、審判という大切な役割感や選手と同じピッチに立てる喜びなどを教えてもらいました。また、関根氏の講義はクイズ形式でおこなわれ、受講者のみなさんは講義にたいへん集中していました。お二人の楽しいやり取りで午前の講義はあっという間に終わりました。

午後はピッチでの実技講習で、実際に旗を持ちオフサイドの判定をしたり、フリークリックの10ヤードの距離感を感じたり、ファウルの見方、笛の吹き方を教えてもらいました。最後に実際の試合の中で、主審審の練習もさせていただきました。日々にむずかしいなどの言葉がこぼれていましたが、みなさん熱心に取り組んでいました。

深野悦子さんは「審判はうまくやって当たり前で、ミスが1回でもあれば非難される。損な役回りかもしれないが、常に目標を持ってできる仕事であるし、真剣勝負の場に身を置けるのは幸せ。」と言っておられます。また、関根インストラクターは「ミスをおかすと悪魔の循環になり、さらにミスをおかすことになるが、消極的な考えをポジティブに考え直すことにより、不安が解消される。」と教えてくださいました。

これから滋賀県でも多くの試合で女子審判員が活躍する姿が見られるといいな、この教室を機会に審判に興味を持ち、将来、深野さんのように威風堂々と笛をふく女性が現れるといいなと思いました。

クイズ

- キックオフのとき選手はハーフラインを踏んでもいいの?
- サッカーとフットボールはどう違うの?
- 今選手は11人だけど、始まったころは何人でやっていた?



滋賀県サッカー協会の開催する行事一覧

気軽にサッカーやフットサルを楽しむ方に下のような教室、スクール、フェスティバルを開催しています。詳細については協会HPをご確認、または、協会事務局までお問い合わせ下さい。

マンデーナイトサッカー教室

子ども・シニア・女子(女性)を対象にサッカー教室を行っています。

毎週月曜日19:00~21:00 ピッグレイクAコート

ハッピーマンデーは休み 参加料500円

エンジョイフットサル

対象 ビギナーからエキスパートまで。チーム参加、個人参加OK。

月1回第4土曜日19:00~21:00 ピッグレイクBコート

参加料500円

シニアナイター・シニアフェスティバル

対象 50~80のシニア

第1土曜日19:00~21:00 日曜日(不定期)9:00~

ピッグレイクBコート Cコート その他競技場グランド

チーム参加5,000円 個人参加500円

キッズフェスティバル

対象 10歳以下のキッズ

年齢別にチーム参加(6人以上)。

参加料1チーム1,000円

レディースフェスティバル

対象 女子、女性

クリニックとゲーム

参加料 無料

ファミリークリスマスフェスティバル

大人2名小学以下2名+1名 チーム参加(5人以上)

ゲーム

フットサルの個人登録

(社)公認アカデミー

対象 U-6 U-8

県内5地域(湖北・湖南・湖東・甲賀・湖西)

教室 水曜日 1時間程度

月謝 月4,000円

その他

ガールズ教室・キッズ教室等開催します。HPで募集します。

公益社団法人への移行のお知らせ

滋賀県サッカー協会は公益移行認定申請をし、1/10付けで移行認定の答申を得ました。4/1付けで移行登記をし、公益社団法人になります。現在移行登記に向けて準備を進めています。お知りおき下さい。

2012年度 登録チームの募集

1月から2012年度の登録チームの募集を行っています。

チーム登録…各種別により、条件が設せられていますので、登録を希望されるチームは社団法人 滋賀県サッカー協会へ連絡ください。各種別の担当者から直接連絡説明をさせていただきます。

条件とは…4級以上のライセンスを持つ審判員がいること。D級以上の指導者ライセンスを持つ指導者が指導にあたっていること。登録当初の選手が11名以上必要。登録費の金額の違いなどその他たくさんあります。

個人登録……どこかのチームに加入してサッカーをしたい方も連絡ください。希望地域のチーム状況のわかる者から連絡させていただきます。

東日本大震災の義援金の受付

この度の東日本大震災を受けて日本サッカー協会で義援金の受付を行っています。滋賀県サッカー協会に所属しておられる皆さまもご協力よろしくお願いいたします。

振込口座 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 (普) 0285814

財団法人日本サッカー協会 東日本大震災義援金口

総会の案内

平成23年度第2回総会を下記の日程で開催します。なお、当日、欠席の方は、後日送付の委任状を必ず提出して下さい。

期 日 平成24年3月17日

時 間 19:00~

会 場 栗東ウイングプラザ

議 題 ①24年度事業計画(案)について

②24年度予算(案)について

③理事の承認について

④他

